



# お十夜法要

お念仏と寺西佐世ソプラノコンサート



令和2年10月31日(土)午後1時～

於 西念寺 本堂

## お十夜法要とは -

お十夜とは念仏の尊さを知り、感謝の気持ちを込めてお称えする法会で、浄土宗では欠かすことのできない大切な法要です

お十夜の歴史は古く、永享年間（1430年頃）にまでさかのぼります。

当時の執権平貞経の弟平貞国が世の儚さを感じて、京都の真如堂に隠り十日十夜の念仏行を行ったことが始まりとされています。

皆様御一緒に木魚に合わせ一心にお念仏をお称えいたしましょう！

## お十夜法要次第

- 1 開 会 挨 拶
- 2 住 職 入 堂
- 3 住 職 挨 拶
- 4 読 経

途中、約10分間のお念仏をお称えします。  
皆様、御一緒に大きな声でお称えください！

- 5 回 向

— 休 憩 — (堂内の換気を行います)

## コンサートプログラム

### 1 月 影 - 浄土宗宗歌 -

「月かげのいたらぬ里はなけれどももながむる人のところにぞすむ」  
この歌は、阿弥陀仏の光明があまねく十方の世界を照らし、念仏の衆生を攝取して捨てたまわぬ大慈悲のみ心を、月にたくして詠まれた法然上人御作の名歌です。

### 2 いのちのわけ

法然上人800年大遠忌を記念し、さだまささんが作曲されました。  
「幸せになるために誰もが生まれてきた」というフレーズを中心に優しさの中にも力強いメッセージが込められたすばらしい曲です。

### 3 千の風になって

私のお墓の前で 泣かないでください そこに私はいません  
眠ってなんかいません の歌詞で随分話題になりました。

この歌は大切な方と「死別」という大きな出来事によって断ち切られてしまったかに見える互いの絆を、新しく結び直す役割を果たしていると言えるのではないのでしょうか。

#### 4 シューベルトのアベマリア

カッチーニやグノーが作曲したアヴェマリアと並んで3大アヴェマリアと言われる人気曲です。

美しいメロディーから、宗教は違っても神仏の教えを信じることで安らぎを得たいとする心の動きは世界共通だと気付かされる曲です。

#### 5 私の生きている意味

人は生きてる意味が分からなくなるとき、様々なことで孤独を感じたり、自分が生きる目的を考えずにはいられなくなるものです。

この曲は佐世さん自身の経験をもとに作られた曲です。

御自身も「あの時辛かったことが今になり私にとって生きる力になり、辛かった私を音楽が導いてくれました」と語っておられます。心を共感させてしみじみと味わってください。

#### 6 手のひらに太陽を

ぼくらはみんな生きている 生きているから歌うんだという歌詞ではじまるこの曲、いかにも力強い、湧き上がる生命力を表現したのだろうと思いきや、この曲を作詞したときは、ひどく憂鬱な気分だったそうで、ふと手にしていた懐中電灯を手のひらにあててみたところ、血管が透けて見えた。そこからこの曲が生まれたそうです。今日のコンサートの締めくくりに皆さんで元気に歌いましょう！

#### 7 寺西佐世氏より御挨拶

アンコール曲、あるかな??

#### 寺西佐世氏プロフィール

阿弥陀寺住職補佐、寺西幼稚園主事、ピアノ講師、音楽療法士、京都東山中学高等学校非常勤講師

大阪教育大学卒業、同大学研究科修了後、奈良教育大学大学院、同大学院研究生修了。その後、'94年スイス・ルツェルン音楽院にて、'96年イタリア・ミラノにて夏期セミナーに参加し、研鑽を積む。

06年、第6回京都芸術祭デビューコンサートにおいて新人賞を受賞。翌年第9回日本演奏家コンクール声楽部門入選。'16年イタリア声楽コンクールファイナリスト。その他、多数の入選や活動歴がある。

全国各地また海外でもコンサートを行い幅広く活動し、日本のみならず世界各地で高く評価され脚光を浴びている。合唱の指揮、後進の指導にも定評がある。

